

# よしきい

2025年 早春号



ノスリ、公園の空を舞う

イラスト：会員 M.F

## 目次

### 公園の風景

- ・すんぐりむっくり . . . . . 1
- ・冬の人気者 . . . . . 1
- ・サツマイモの花 . . . . . 1
- ・タヌキと遭遇 . . . . . 1

### 展望棟から ◎ . . . . . 2

### みんなのひろば

- 海からの贈り物!? . . . . . 2

### 活動紹介

- ・今年も引いた？きららのおみくじ . . . 3
- ・クロツラ募金 . . . . . 3

発行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail [ashinokai.kirara@gmail.com](mailto:ashinokai.kirara@gmail.com)

HP [ashinokai.html.xdomain.jp](http://ashinokai.html.xdomain.jp)

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

**会員募集中！（高校生以上）**



# 公園の風景



## = ずんぐりむっくり =

田んぼや草地の上を旋回してネズミ、モグラなどの餌を探す猛禽類はいろいろいますが、トビ？ チュウヒ？ノスリ？ と猛禽類の見分けはなかなか難しいですね。トビに似てトビより小柄、チュウヒよりずんぐりしているのが「ノスリ」です。一説には「野を擦るように飛ぶ」ところからそう呼ばれているそうですが、上空を飛んでいる時はお腹の色がトビより白っぽいのと、尾の先が丸い形をしているのでトビとの識別はできそうです。

山口県では繁殖記録がないので冬鳥となっています。この冬は公園でもよく目撃されましたが、道端の木の枝先や電柱などにも何気なくとまっていることもあり、よく見ると眼光鋭い他の猛禽類と違って目が優しく、ずんぐりむっくりでチャーミング。目が合ったらファンになってしまうかも？



## = 冬の人気者 =



オス

秋になるとやって来るとっても可愛い野鳥がいます。それはジョウビタキ。オスは頭が銀白色、顔は黒くお腹は赤茶色。メスは灰色っぽい茶色で、どちらも翼に白斑があります。「ヒッヒッヒ」「カカッカカッ」と鳴く声が火打ち石を叩く音に似ているから「火焚き」と呼ばれるようになったそうです。ピョコンとおじぎをしたり、尾を上下に振ったり羽をモフモフに膨らませて

いたり。人懐こく、目の付くところに出てきてくれるので見つけやすいと思いますよ！探してみてくださいね！



メス

## = サツマイモの花 =

ホカホカの焼き芋が美味しい季節です。葎の会も5月に植え付け10月に収穫したサツマイモを、秋のふれあいまつりで焼き芋にして販売しています。でも、育てる間に花を見ることはありませんでした。サツマイモは日照時間が短くなると花芽を形成し開花しますが、日本では日が短くなると気温が下がるため花がつかなくなるそうなのです。メキシコを中心とする熱帯アメリカが原産地の植物だからでしょうか？



数年前、ご近所さんから頂いたサツマイモの端切れで水耕栽培を試みたところ、何日か経って写真のように見事に花が咲きました。日照時間の短い今、野菜かごにあるサツマイモで試されてはいかがでしょうか？

## = タヌキと遭遇！ =

公園ではたまにタヌキに遭遇することがあります。先日は園路で何やらムシャムシャ食べているところを発見！まだ子どもなのか警戒心が薄く、ずいぶん近づいても逃げません。多分どんぐりを食べるのに夢中だった模様。ハッと我に返って筆者と目が合うと、「ゲッ!!」って感じでスタコラと藪の中へ消えていきました。



## 展望棟から ⑥

日の山から始まった、展望棟から見える山々を紹介するシリーズの最終回は、一回目にさらっと触れた日の山です。

公園から一番近い、岐波地区と阿知須地区にまたがる日の山(146m)は6000年前に起きた地殻変動で隆起してできたと言われています。象が伏せたような形から「象山」と呼ばれて近隣の人々に親しまれ、瀬戸内海から昇る初日の出を拝むために例年200人近い登山者があるそうです。山頂近くには避難除けの神様を祀る焼火神社、沖合を走行する船のための灯台も残されています。西登山口から70mのところにある「千畳敷」からは全国有数の見事な干潟が一望できます。



観察展望棟

東西南北、ぐるりと見渡せます



展望台から見える日の山



潮が引くと岐波海岸に広い干潟が現われる



丸尾方面から見る日の山はまさに象!

## みんなのひろば😊



### 海からの贈り物!?

家から少し下ったところにある海岸に久しぶりに散歩に行き、流れ着いたゴミの多さに呆然としました。ほとんど人の行かない岬の向こう側には、もう何年も放置されていたペットボトル、食品トレイ、菓子袋、ビニール袋、サンダルや靴の片方、牡蠣いかだ用のパイプ、壊れたプランターなど、ありとあらゆるプラスチックゴミやビン、缶などが散乱し、見るも無残。多くは街などで捨てられたゴミが水路や川を伝って海に流れ込んでいるといいますが、ギョッとしたのは漁業者が浮きを使う発泡スチロールの大きな塊。それが小さな岩場に5個も6個も打ちあげられていて、放っておくと日に晒され波に洗われ、ポロポロと砕けてまた海に帰りマイクロプラスチックになるのは目に見えています。一人では手に負えないので夫を誘い、まず、すぐに粉々になる発泡スチロールを拾い集めることから始めました。

プラスチックの生産量はこの20年で2倍に増え今も増加中で、2050年には海洋プラスチックが魚の量より多くなるという試算が出ています。どこかの国では海鳥が海草の代わりに海に漂う漁網を運んできて巣を作るようになり、ヒナがからまって皆死んでしまうという悲しい映像も見ました。プラスチックの製造を減らしていく企業の取り組みにも期待したいですが、私達個人もプラスチック製品の使用は最小限にするなど、できることから実践していきたいところです。

半年あまりかけて拾い集めた漂着ゴミは大袋40個分にもなり、とりあえず目の前の浜はすっきりときれいになりました。(nimu)



皆さまのご投稿をお待ちしています。ashinokai.kirara@gmail.com までお送りください。

# 活動紹介

## = 今年も引いた？きららのおみくじ =

公園の年初めは2日と3日の臨時開園から始まります。この臨時開園に花を添えるべく、会員の提案で4年前から始まったおみくじです。年ごとの干支にからめて園内で観察できる鳥や動物を関連付け、おみくじを引いた主へのちょっとしたアドバイスが記されています。今年は巳年、ヘビの折り紙のおみくじを開くと絵とコメントが。おまけに当たりであればお土産もあります。来年は午年、公園でのおみくじをお楽しみに。



<俳句教室 最多選句>

## = クロツラ募金 =

葦の会は毎月1回クロツラヘラサギの生息数の調査を続けています。これは山口湾をラムサール条約の認定地とすべく行っている活動のひとつです。その一環としてビジターセンターに募金箱を置いています。これは来園者の方々への周知を図る目的と共に、山口湾のアンプレ種としてのクロツラヘラサギの生息保護活動の一助にもなります。皆さんから頂いた募金をラムサール取得に向けて葦の会独自の新たな活動に生かすことを計画しているところです。



・にはどりや水輪つきつき重ねをり 孝久	・人知れずたわわに成るやはぜの実は 孝雄	・一陽来福今日こそ彼氏見つけんと はるか
------------------------	-------------------------	-------------------------

11月

12月

### <編集後記>

新しい年が始まりました。この冬は公園に飛来する水鳥が例年より少なく、淡水池もひっそりとしていましたが、去年の12月にはなんと、観察ホール前の干潟にオオハクチョウが姿を見せたそうです。公園へ来てくれたのは2018年の冬以来のことです。一晩羽を休めたあと、どこかに飛んで行ってしまったようですが、公園がなかなかいいところだったなと仲間たちにも伝えて、今年の冬また戻ってきてくれないかな。さて、今年はいったい、どんな春、どんな夏になるのでしょうか。(nimu)